

さかい支部社協だより

2014.5月号

発行元：さかい支部社協委員会
発行：坂井市社会福祉協議会

さかい支部社協委員会(任期2年間 平成24年4月～平成26年3月)では、「さかい支部住民福祉活動計画」(平成24～28年度)の推進に取り組みました。2年間の活動を中間報告としてまとめました。



委員会開催数
H24 4回
H25 4回

2年間で取り組んだこと

①支部社協の役割、位置づけがわからない。旧町時代の事業が停滞しているのでは？

⇒まずは、支部社協として旧町時代の事業を引き継ぎながら、目的を達成していこう！と、次のような事業に取り組みました。



一人暮らし高齢者交流会



歳末訪問用しめ飾り作り

②募金額の低下。ボランティアのつながりが弱い。

⇒街頭募金活動に取り組みました。絆を深めるため「福祉団体・ボランティア交流会」「サロン活動者連絡会」を開催しました。



街頭募金



福祉団体・ボランティア交流会



③身近な地域の活動があって、支部社協の活動になると思うが、まち協との違いとか関係性とか、まだ不十分な部分が多い。

⇒まち協福祉部会代表者との話し合いや公民館長、まち協会長への説明などを行いました。

見えてきた課題

計画の柱1 「支え合える人づくり」

まち協福祉部会との協議を重ねながら、基礎組織づくりに取り組む計画でしたが、地区への働きかけ、その協議が不十分でした。また、地区ごとの組織の違い、考え方の違いに合わせていませんでした。福祉委員活動を活性化させることがたびたび課題として上がりましたが、福祉委員活動強化と支部社協を十分に結び付けられませんでした。

計画の柱2 「つながりの場づくり」

身近なところでのつながり強化や場づくりには十分取り組めませんでした。

- 2つの部会に分けたことで運営がしにくい面がありました。
- 事務局からの説明や事業の実施についての話に偏り、それぞれの委員が所属する団体や活動について、十分に共有することができませんでした。

今後取り組みたいこと

- ◇ 4地区での見守り活動、小地域福祉活動の推進を推進し、支部社協では、その報告、情報共有を図っていきたい。
- ◇ 支部単位でのつながりづくりは継続しながら、4地区での場づくりを進めていきたい。
- ◇ 委員会の運営方法の見直しと委員の役割の強化、地区活動との関係性について、検討していきたい。